

会頭挨拶



第32回日本医学総会

会頭 澤 芳樹

大阪大学大学院医学系研究科、
大阪府立大学

第32回日本医学総会を、「医学のレジリエンス～みらいへの挑戦と貢献～」をメインテーマに掲げ、2027年4月に大阪で開催いたします。日本医学総会は、1902年(明治35年)以来、4年ごとに開催されている120年以上の伝統ある学術集会です。大阪での開催は、明治43年第3回青山嵐道会演のもとでの開催以来、7回目となります。昭和5年第8回佐多慶彦先生、昭和22年第12回楠本豊三郎先生、昭和38年第16回今村荒男先生、昭和58年第21回古田宗雄先生、平成19年第27回岸本忠三先生といった大阪大学の伝統的な内科医の先生方がこれまでで開催されてきました。私は40年以上の外科医としての道のりの中で、今日の大役を仰せつかることになり、先輩方が築いてこられた医学総会の名に恥じないよう、全力を尽くして務めさせていただきます。

さて、人類はコロナパンデミックを経験し、地球規模の危機に直面しました。これにより、世界が一つの社会であることを改めて認識しました。一方で、この危機を乗り越え、日常生活に戻った今、この地球規模の経験をもとに、より良い未来を築くことが現代人の使命です。振り返ると、人類が地球上でこれほど進化してきたのは、決して強かったわけではなく、「弱さ」を「強み」に変え、「レジリエンス、すなわち「危機を生き抜く知恵」を蓄え強いてきたから

です。コロナパンデミックの経験は、これからの社会と生き方における「より良い未来の選択」のための大きな視座を提供してくれました。すなわち、mRNAワクチンを中心とする地球規模の医学・医療者の戦いが地球を救い、人類が未来に向かって歩み始めた今、医学のしなやかさや復元力、すなわち医学のレジリエンスをメインテーマとすべきと考えました。この議論は、今後も人類を襲うパンデミックへの医学の挑戦を副題として「みらいへの挑戦と貢献」とする次第です。

現在、日本医学学会に加盟している学会は、計144学会を数えています。すべての加盟学会にご参加いただき、議論できる総会にしたいと考えております。具体的には、ポストコロナと少子高齢社会という状況を踏まえ、多くの医療関係者が学術集会や学術展示を通じて、医学・医療の最先端を学び、その全体像を俯瞰し、デジタル革命、すなわちAI、IoT、ICT、ロボティクスなどの技術革新が医学・医療をどのように変えていくかを、「医学のレジリエンス～みらいへの挑戦と貢献～」という観点から認識を共有できればと考えています。また、国民の皆様に、市民公開講座や市民イベント、博覧会等を通じて、医学の面白さや素晴らしさ、そして未来の医療について理解を深めていただく良い機会になることを願っています。医療従事者、研究者、学生、一般市民の皆様から広くご意見をいただき、より多くの方々のご協力により、意義のある総会にしたいと考えております。感動を与えられ、そして大阪・関西らしく楽しんでいただける企画を考えておりますので、ご協力・ご支援、そしてご参加のほど、何卒よろしくお願い申し上げます。

主務機関

- 主催** 日本医学学会
- 実行機関** 第32回日本医学総会
- 主務機関** 大阪大学医学部、京都大学医学部、神戸大学医学部、北海道大学医学部、東北大学医学部、東海大学医学部、九州大学医学部、広島大学医学部、東京大学医学部、慶應義塾大学医学部、滋賀医科大学、京都府立医科大学、大阪公立大学医学部、奈良県立医科大学、和歌山県立医科大学医学部、關西医科大学医学部、近畿大学医学部、大阪医科大学薬科大学医学部、兵庫医科大学医学部、医薬基盤 健康 栄養研究所、国立循環器病研究センター、大阪府立病院機構、大阪府医師会
- 後援(申請中)** 日本医師会、日本歯科医師会、文部科学省、厚生労働省、経済産業省、国土交通省、財務省、大阪府、大阪市、NHK、日本病院会、日本看護協会、日本薬剤師会、日本病院薬剤師会、日本診療放射線技師会、内閣府健康 医療戦略推進本部、内閣府国際博覧会推進本部、読売新聞社、朝日新聞社、毎日新聞社、日本経済新聞社、産経新聞社、共同通信社、大阪商工会議所、日本青年会議所医療部会、関西経済連合会、大阪ロータリークラブ、日本医療研究開発機構、日本医療機器産業連合会、米国家医療機器・IVD工業会、日本製薬工業協会、関西領事団、大阪府教育委員会、大阪観光局、テレビ大阪社、読売テレビ社、関西テレビ放送社、毎日放送社、朝日放送グループホールディングス、古本興業ホールディングス社、阪急阪神不動産社、関西経済同友会、オリックス不動産社、竹中工務店社、三菱地所社、パソナ社、西日本旅客鉄道社、神戸医療産業都市推進機構、未来医療推進機構

本総会では、AI 活用の革新的診断技術から、iPS 細胞や免疫医療の最前線まで、日本を代表するトップ研究者・講演者が集結。特別講演や多彩なシンポジウムを予定しております。

特別講演



継続が想像を超える創造を生む

岸本 忠三 先生 (大阪大学 免疫学フロンティア研究センター)



iPS細胞研究の現状と医療応用に向けた取り組み

山中 伸弥 先生 (京都大学 iPS 細胞研究所)



制御性T細胞と新しい免疫医療

坂口 志文 先生 (大阪大学 免疫学フロンティア研究センター)



人間の本质といのちがつながる地球の未来

山極 壽一 先生 (総合地球環境学研究所)



睡眠の謎に挑む：原理の追求から社会実装まで

柳沢 正史 先生 (筑波大学 国際統合睡眠医科学研究機構)



ゲノム医療

中村 祐輔 先生 (国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所)



医学とAI

松尾 豊 先生 (東京大学大学院工学系研究科 人工物工学研究センター/技術経営戦略学専攻)



ご講演テーマ未定

安藤 忠雄 先生 (安藤忠雄建築研究所)



アバターと未来社会

石黒 浩 先生 (大阪大学大学院 基礎工学研究科 石黒研究室)

その他講演

- 日本医師会会長講演 松本 吉郎 先生
日本医学学会会長講演 門脇 孝 先生
日本歯科医師会会長講演 高橋 英登 先生
日本看護協会会長講演 秋山 智弥 先生
日本薬剤師会会長講演 岩月 進 先生
日本病院薬剤師会会長講演 武田 泰生 先生
大阪府歯科医師会会長講演 深田 拓司 先生

シンポジウム他

医学のレジリエンス/医学の歴史探訪/地球環境と感染症/日本の地域医療

わが国の臓器移植のあり方とみらい/フォーミュラの現状と展望~医師と薬剤師で作りに上げる最適な薬物治療管理~/薬事承認にスムーズにいたる研究開発とは/医師が知っておくべきポイント/地域医療の現状と未来・関西公立医科大学 医学部連合の取り組み

医学を問い、医療を拓くー研究の救びと使命/イノベーションと生命倫理/パラダイムシフトの時代の大学像ーゲーム・チェンジは可能か?/大学病院の経営と今後の在り方/いきいきとした人生100年時代を目指す医学・医療の新しいチャレンジ/2040年を見据えた医療提供体制についてー病診連携と医師会 医学会の関わり方について/次世代を担う医師と医師会の役割について

産業医セッションについて (予定)

- 会期中6単位まで取得が可能です。
- 受講料は、受講セッション数に問わず5,000円となります。なお、本総会への参加登録が必須です。
- 現地会場での参加以外に、各都道府県に設置予定のサテライト会場での参加が可能です。
- 「更新」と「専門」の一部セッションのみ対象となります。
- 「実地」は、現地会場でのみ参加いただけます。2023年総会より数を増やして開催予定です。

取得可能な単位について (予定)

日本医学分科会が定める各単位
協力機関研修単位
日本医師会認定健康スポーツ医研修単位
日医かかりつけ医機能研修制度 市用研修単位